



昨年度は、平城遷都 1300 年祭を記念して、全日本遠的選手権大会が、高円宮妃殿下のご臨席を仰いで、盛大に開催され、成功裡におえることができました。これも関係各位のご協力の賜と感謝申し上げます。

さて、23 年度は、東北・太平洋沖大地震と津波による被害を忘れることは出来ません。被災に遭われました皆さんに、心よりお見舞い申し上げます。奈良県弓道連盟としても、全日本弓道連盟の呼びかけに応じて、復興に向けての支援に協力していきたくて思っております。被災に会われた方々は、弓どころではないかと思いますが、一日も早い復興・復活を願っております。

23 年度の始まりにあたって、ここで、あらためて、弓の引ける身のありがたさに、感謝せねばと思いました。

今年度は、近畿地域弓道連盟の当番県にあっております。いろんな行事に参加、運営させていただくことも大切なことです。県連会員各位には、いろんな面で、お世話になると思っています。

お互いに、弓道をやっていて良かったと、思えるような日を、人生を送れるように、協力してやっていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

■全日本弓道連盟の動き

3月6日の平成22年度通常評議員会および3月29日の臨時役員会での主な決定事項を報告します。

- 1)平成23年度の事業計画として、
 - ・定期中央審査を新設して、2月に名古屋で行う。
 - ・中央道場で行われていた行事を地域開催とする。
 - ・24年度から講習会のあり方を見直す
- 2)平成23年度予算編成に関連して
 - ・財務体制の編成の変更
弓道普及事業(公益目的事業1)と法人会計に分ける公益目的事業として 1)競技力向上、2)指導者育成、3)称号の査定・段級の審査、4)普及振興 と4部門に
 - ・7000万弱の赤字を見込む
 - ・名誉会員への入会を積極的にすすめる
- 3)新法人移行に向けて、定款(案)が承認され、申請が進められている。
- 4)東北・太平洋沖大震災に関連して
 - ・義援募金を行う。
 - ・7月の仙台定期中央審査を代替え開催として、浜松市で行う。

(文責 県連 会長 吉本清信)



新五段 誕生

おめでとうございます

近畿連合審査会 (3月27日 明石市)

村高 恵利子 (奈良)
衛藤 博史 (橿原)
新子 修平 (五條)
坂東 由香 (奈良)
高柳 詩子 (奈良)
森内 育宏 (奈良)

■ 評議員会報告

さる10日(日)16時から橿原公苑弓道場で評議員会を開催いたしました。平成22年度の事業報告、決算報告、監査報告について、すべて承認され、つづいて23年後の事業計画、予算案についても審議の結果、承認を頂きました。いよいよ本年度も本格的なスタートになります。また、今年は近畿連合会の主管地連となりますので、本県において多くの近畿連合会行事が開催されます。会員の皆様のご協力をお願い致します。(事務局 阪中)

■大和郡山市弓道協会講習会報告

4月3日(日)、災害のため中止となった「お城まつり弓道大会」に代わる講習会を、やまと郡山城ホール武道場で実施しました。

講師に吉本、西浦、西中、阪中各先生をお迎えし、県連各支部から多数の参加を得て、受講生56名の講習会となりました。午前中は、受講生による射礼に始まり、採点制による全員の一手行射。昼食休憩時には射礼の講評と質疑応答の時間があり、当事者はもとより全員が先生方からの注意点を自分のこととして肝に命じたこととします。午後は先生方の模範演武に続き、班別射技研修を行い、指導には須田先生も加わって午前中の演武の評価表を手し、各人に対応した丁寧な指導をしていただきました。当日は寒い日であったにもかかわらず熱気にあふれ、時間内に1本でも先生に見てもらおうと矢を番えて控えて待つ人が出るほどでした。

今回の講習会の経験を生かし、今後は更に充実した行事になるように工夫をしていきたいと思っております。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

(大和郡山市 赤松)

■震災義援募金への協力お願い

4月10日に開催された県連評議員会において、東北地方太平洋沖地震被害に対する全弓連からの義援金支援への協力要請の説明がされ、奈良県連としての対応を協議し、以下の通り決定致しました。
会員各位のご理解と支援へのご協力をお願い致します。

1. 全日本弓道連盟からの義援募金募集の要請

- ① 日本体育協会・義援募金への協力
全弓連として300万円の義援募金に応じる。全弓連にて70万円を拠出、各地連（除く東北6県）に5万円の協力を要請します。
- ② 全弓連・義援募金
地連、支部、団体を問わず広く募り、全弓連で取り纏めて東北連合会と調整の上、日本赤十字社等へ送金します。取り纏め期限＝H23.5月末
- ③ 全弓連・義援募金箱の設置
全弓連主催行事開催の折、会場地に義援募金箱を設置します。参加者各位には趣旨ご賢察の上、温かいご支援をいただきたいと存じます。取り纏め期限＝H24.3月末

2. 奈良県弓道連盟としての対応

- ① 日本体育協会・義援金の件
本件はH23年度一般会計の慶弔金（見舞金）として県連より5万円を送金する。
- ② 5月末日締め切りの全弓連あて義援金の件
本件は県連の対応として特別会計より10万円を送金する。なお、それぞれの支部、または個人でもご検討いただき、もし、義援金を拠出する場合は、直接、全弓連の指定口座に送金をお願いしたい。
- ③ 年間募金箱の設置の件
今回の震災被害が深刻かつ長期に亘るものであり、県連においても今回の支援を一過性に留めず、会員への継続的な募金活動をおこなう。今年度の県連主要行事にて、義援金募金箱を設置して行事参加者各位の協力をお願いする。募金への参加は各人の自由とし、また、金額の多寡も問わない。

実施要領

- ・募金箱の管理は各行事の担当部署・支部とし、行事の終了後、開封のうえ、担当者2名で金額を確認・記録し、同額を県連の郵便口座（会費の送金口座に同じ）に振り込む。（義援金の行事名・日付を明記）
- ・財務部にて入金の高額を積み立て、H24・3月末に全弓連宛てに義援金として送金する。

（文責：財務部 眞鍋）

■遠的場がリニューアルオープンしました

昨年度中の工事を終え、本年度初頭から、フットサル兼用の人工芝にリニューアルオープンしました。あわせて、ネットの張替えと遠的の安土が完成しております。



これまで以上に、安全面での工夫がなされ、雰囲気も「らしく」なってきております。多くの利用をお願いします。

なお、安土の天端（一番高いところ）は地盤面から2mほどの高さになっております。それで矢が取りにくくならないように安土前部を50cmほど盛り上げてつくってあります。危険防止のため、また芝生の養生のため、決して登ってとらないようにお願いします。学生生徒の使用時には、先生方からその旨の徹底をお願いいたします。（事務局）

■3月地連審査結果

3月20日（級位：橿原）、21日（級位：奈良・段位：橿原）に審査会を実施しました。結果は

第231回（級位：橿原）

1級56名、2級57名、3級5名、4級38名
計156名

第232回（級位：奈良）

1級127名、2級33名、3級3名、計163名

第233回（段位：橿原）

初段58名、弐段47名、参段13名、
四段は奈良支部豊田氏、橿原支部中野氏の2名でした。

終了後の審査員からは、

- ・足踏みの幅が狭いため手先の離れとなり、中筋から離れている人が少なかった。大三が大きすぎる人が目立っていた。
- ・基本的な動作（入場、執り弓、矢つがえ等）が不十分、手の内が全くできていない人等が見られた。指導者の皆さんよろしくご指導下さい。
- ・退出の足運びが遅い人が目に付いた。
- ・女子の髪の毛の処理が不十分で、弦に払われる人があり大変危険です。

以上、次回審査に向けて修練を積んでください。

<<訂正のお願い>>

県連の便覧に掲載されている各種競技の申し込み先である伊坂 隆行さんの電話の市外局番が間違っています。正しくは0745です。訂正をお願いします。